

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年8月9日

**【四半期会計期間】** 第83期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** 株式会社佐藤渡辺

**【英訳名】** WATANABE SATO CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 渡 邊 忠 泰

**【本店の所在の場所】** 東京都港区南麻布一丁目18番4号

**【電話番号】** 03(3453)7351(代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役員経理部長 丹 波 弘 至

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区南麻布一丁目18番4号

**【電話番号】** 03(3453)7351(代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役員経理部長 丹 波 弘 至

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第82期 第1四半期 連結累計期間	第83期 第1四半期 連結累計期間	第82期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	6,804,113	6,231,391	40,630,163
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	148,459	159,767	1,759,153
当期純利益又は 四半期純損失 ( ) (千円)	124,042	118,338	1,623,730
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	129,499	73,526	1,752,064
純資産額 (千円)	6,727,919	8,391,568	8,596,753
総資産額 (千円)	25,041,823	23,738,784	28,924,111
1株当たり当期純利益金 又は四半期純損失 ( ) (円)	7.77	7.41	101.75
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	26.70	35.22	29.60

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありました大連佐東奥瀝青有限公司は、当社持分の譲渡契約を締結したため、同社を連結の範囲から除外しております。

この結果、平成25年6月30日現在では、当社グループは、当社、連結子会社4社及び持分法適用会社2社により構成されることとなりました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス効果が顕在化されたことにより、製造業、非製造業ともに企業収益は改善傾向に向かいました。

道路建設業界におきましては、東日本大震災の復興事業が本格化するとともに、全国各地での公共工事も堅調に推移してきている一方で、人手不足による労務費の高止まり傾向や、建設資材の価格の高騰が指摘されるなど依然として厳しい経営環境下でありました。

当社グループでは、このような状況下、受注量の確保、安全の優先、工程管理の強化、並びに採算性の管理に努めてまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における受注高は102億1千3百万円（前年同期比25.8%増）、売上高は62億3千1百万円（前年同期比8.4%減）となりました。利益につきましては、経常損失が1億5千9百万円（前年同期は経常損失1億4千8百万円）、四半期純損失が1億1千8百万円（前年同期は四半期純損失1億2千4百万円）となりました。

事業の部門別の業績は、次のとおりであります。

#### （工事部門）

工事受注高は92億1百万円、完成工事高は52億1千9百万円、完成工事総利益は3億7百万円となりました。

#### （製品等販売部門）

製品等受注高、売上高は10億1千1百万円、製品等売上総損失は3千2百万円となりました。

当社グループの売上高は、通常の営業形態として、第4四半期連結会計期間に完成する工事の割合が著しく大きくなります。一方、営業所経費、販売費及び一般管理費がほぼ均等に発生するという季節的変動による損失であり、第1四半期連結累計期間としては概ね予想通りであります。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費は9百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,978,500	15,978,500	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は、1,000株 であります。
計	15,978,500	15,978,500		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		15,978,500		1,751,500		600,000

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 21,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 15,936,000	15,936	
単元未満株式	普通株式 21,500		
発行済株式総数	15,978,500		
総株主の議決権		15,936	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が3,000株(議決権3個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式429株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社佐藤渡辺	東京都港区南麻布 1-18-4	21,000		21,000	0.13
計		21,000		21,000	0.13

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	3,846,702	4,227,384
受取手形・完成工事未収入金等	2 13,617,244	2 7,205,883
未成工事支出金	935,571	1,693,650
その他のたな卸資産	1 232,521	1 221,306
繰延税金資産	293,579	354,337
その他	241,020	198,224
貸倒引当金	174,566	155,517
流動資産合計	18,992,073	13,745,268
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,990,075	5,990,075
その他(純額)	2,194,119	2,232,405
有形固定資産合計	8,184,195	8,222,480
無形固定資産		
39,556		37,714
投資その他の資産		
投資有価証券	1,163,784	1,221,650
長期貸付金	66,545	64,544
破産更生債権等	206,599	212,281
繰延税金資産	355,856	333,403
その他	121,046	114,961
貸倒引当金	205,884	213,689
投資その他の資産合計	1,707,948	1,733,151
固定資産合計	9,931,700	9,993,346
繰延資産	337	168
資産合計	28,924,111	23,738,784

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2 10,022,248	2 7,091,588
短期借入金	3,600,000	2,400,000
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	194,788	161,448
未払法人税等	741,362	19,666
未成工事受入金	587,619	913,182
賞与引当金	409,154	119,523
完成工事補償引当金	23,506	24,687
工事損失引当金	55,400	67,800
その他	786,656	646,060
流動負債合計	16,470,736	11,493,956
固定負債		
長期借入金	124,907	86,055
再評価に係る繰延税金負債	1,031,379	1,031,379
退職給付引当金	2,562,749	2,594,185
その他	137,585	141,638
固定負債合計	3,856,622	3,853,259
負債合計	20,327,358	15,347,215
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,751,500	1,751,500
資本剰余金	869,602	869,602
利益剰余金	4,208,650	3,959,023
自己株式	3,867	3,867
株主資本合計	6,825,886	6,576,259
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	197,625	238,243
土地再評価差額金	1,553,202	1,553,202
為替換算調整勘定	14,269	7,174
その他の包括利益累計額合計	1,736,557	1,784,271
少数株主持分	34,309	31,038
純資産合計	8,596,753	8,391,568
負債純資産合計	28,924,111	23,738,784



## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	6,804,113	6,231,391
売上原価	6,511,689	5,956,632
売上総利益	292,424	274,758
販売費及び一般管理費	439,438	453,165
営業損失( )	147,014	178,406
営業外収益		
受取利息	1,639	1,715
受取配当金	8,264	10,409
持分法による投資利益	-	2,410
貸倒引当金戻入額	6,306	10,784
雑収入	9,235	8,884
営業外収益合計	25,445	34,204
営業外費用		
支払利息	25,151	14,682
持分法による投資損失	269	-
雑支出	1,470	882
営業外費用合計	26,891	15,565
経常損失( )	148,459	159,767
特別利益		
固定資産売却益	1,470	344
特別利益合計	1,470	344
特別損失		
固定資産除却損	6,029	7,089
投資有価証券評価損	16,587	-
特別損失合計	22,616	7,089
税金等調整前四半期純損失( )	169,606	166,512
法人税等	44,208	48,904
少数株主損益調整前四半期純損失( )	125,397	117,607
少数株主利益又は少数株主損失( )	1,355	730
四半期純損失( )	124,042	118,338

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	125,397	117,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,106	40,617
為替換算調整勘定	1,089	707
持分法適用会社に対する持分相当額	4,914	2,755
その他の包括利益合計	4,102	44,081
四半期包括利益	129,499	73,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,680	74,257
少数株主に係る四半期包括利益	819	730

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
連結の範囲の重要な変更 当第1四半期連結会計期間より、連結子会社でありました大連佐東奥瀝青有限公司は、当社持分の譲渡契約を締結したため、同社を連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
税金費用の計算 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 その他のたな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
販売用不動産	8,521千円	8,521千円
材料貯蔵品	224,000	212,785

- 2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休業日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	119,083千円	97,328千円
支払手形	10,911	2,252

(四半期連結損益計算書関係)

1 売上高の季節的変動

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

当社グループの売上高は、主たる事業である建設事業において、契約により工事の完成引渡しが第4四半期連結会計期間に集中しているため、第1四半期連結会計期間から第3四半期連結会計期間における売上高に比べ、第4四半期連結会計期間の売上高が著しく多くなるといった季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	80,147千円	100,539千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	39	2.5	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	127	8.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当社グループは、建設事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額	7円77銭	7円41銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失(千円)	124,042	118,338
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	124,042	118,338
普通株式の期中平均株式数(千株)	15,957	15,957

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8 月 8 日

株式会社佐藤渡辺  
取締役会 御中

太陽 A S G 有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 桐 川 聡 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大 矢 昇 太 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社佐藤渡辺の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社佐藤渡辺及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。